

2014.6.18

朝日新聞
朝刊
名古屋版

障害者と音楽奏で10年

名古屋のサークル「ドラむす」

障害者とともに音楽を楽しむ活動を10年にわたり続ける団体が名古屋市にある。音楽サークル「ドラむす」。打楽器や歌を障害者らが担い、愉快なハーモニを奏でる。活動の成果を披露しようと、初の大イベントとなる10周年記念コンサートを22日に開く。



コンサートに向けて練習する「ドラむす」のメンバー＝名古屋市瑞穂区の瑞穂生涯学習センター

22日に記念コンサート

名古屋市瑞穂区の瑞穂生涯学習センターで15日、メンバーが最後の練習に汗を流していた。ギターやキーボードの伴奏に合わせ、ドラムやタンバリンなどの打楽器でリズムを奏でる。ドラムを担当するのは、障害者メンバーの一人で、同市千種区の原あゆみさん(31)。活動に参加して3年目、得意な曲ではマイクも握る。「仲間がいるので練習も楽しい。本番も頑張りたい」と笑顔を見せた。メンバーは小学生から50代までの19人。11人に知的障害や重複障害などがある。福祉施設の職員や音楽療法士、主婦らもいる。

誰でも参加できる地域のサークルに。以来、同センターで毎月練習を重ね、年に数回、地域のイベントに出演したり、ミニコンサートを開いたりしてきた。選曲も練習も、障害者と健常者が対等な立場で話し合っているのがモットーだ。松田美和代表(33)は「障害のある人もない人もお互いにスポットライトを浴びられる場所。みんなが楽しめるから」こそ10年続けられたと話す。

1年以上前から記念コンサートの準備を進めてきた。ミュージシャンの新沢としひこさんと山野さと子さんがゲスト出演する。手話ソングユニット「WING」や地元の小学生ダンスチームなども協力。BEG INの「島人ぬ宝」やゆずの「スマイル」、オリジナル曲など約10曲を披露する。

22日午後1時から、同市北区の市北文化小劇場で。入場料は一般1千円、中学生以下、障害者と介護者はそれぞれ500円。問い合わせはドラむすのメール(concert@doramusu.net)へ。(中野龍三)

2014.6.23

朝日新聞 朝刊
市民版

障害者らのバンド「ドラむす」10周年 北区で記念演奏会

北区で障害がある人もない人も一緒に音楽を楽しむバンド「ドラむす」が結成10周年を迎え、北区志賀町四の北文化小劇場で二十二日、記念コンサートを開いた。

二〇〇四年六月、南区内の障害者施設の利用者三人と職員の計四人で始めた。バンド名



いろいろな楽器を使って演奏する「ドラむす」のメンバーたち＝北区志賀町の北文化小劇場で

はメンバーたちが好きなアニメ「ドラえもん」と、当時はやっていたアイドル「モーニング娘。」を組み合わせた。

活動の広がりとともにメンバーは増え、現在は小学生から五十代まで十九人。月一回、瑞穂区の生涯学習センターで練習を重ねながら、イベントなどで演奏をしている。

コンサートには、ほぼ満員の二百八十人余

りが来場。オリジナル曲も交えながら十曲ほどを披露した。障害者施設のスタッフで、バンド代表の松田美和さん(33)は「まさか十年も続くとは思っていません。これが新しい一歩ですね」と話していた。